

株式会社MS-Japan

■ 管理部門 登録者レポート

2022年 10月 ~ 12月

経理・財務部門 (2022.10.01 ~ 2022.12.31)

年代別動向

株式公開 (IPO) 準備業務の経験者増。平均年収は小幅に減少傾向に

求職者の年齢内訳としては20・30代の求職者が54.1%とこれまで同様、半数以上を占めた。

首都圏の平均年収は、前回 (2022年7月~9月) よりも約10~30万円程度、小幅にダウンしたものの、唯一30~34歳が478万円から小幅にアップ。東海・関西圏についても小幅にダウン傾向だが、35~39歳が前回よりも60万円以上アップし500万越えに、45歳以上は横ばいとなった。

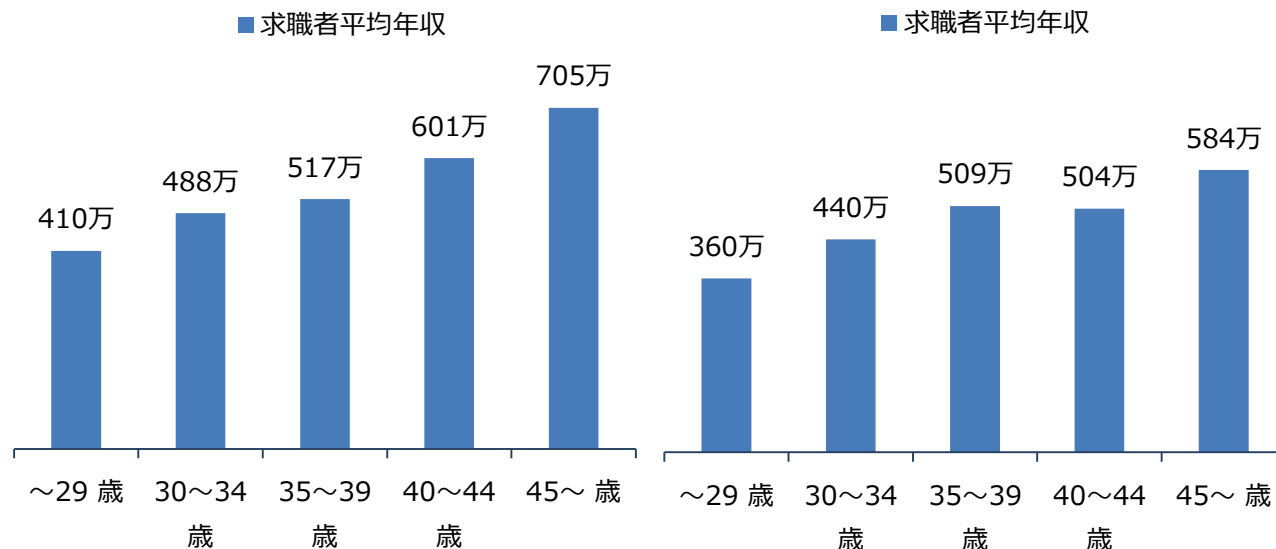
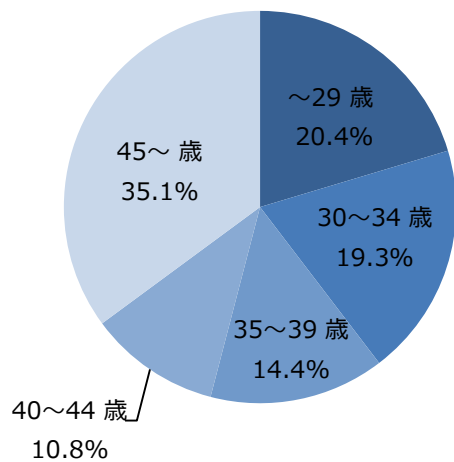
業務内容は株式公開準備業務の経験者が前回 (2022年7月~9月) の12%⇒22%と増加した。

引き続き求職者にも人気の高いIPO企業だが、上場達成後のキャリアアップや、IPO頓挫に伴い転職を考える求職者も多い。

年代別 求職者分布

年代別 年収分布 (首都圏)

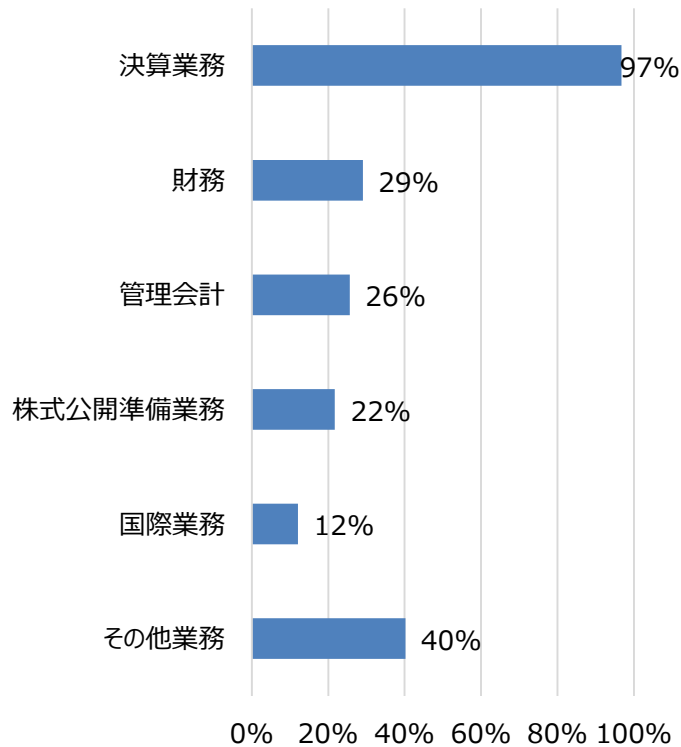
年代別 年収分布 (東海・関西圏)



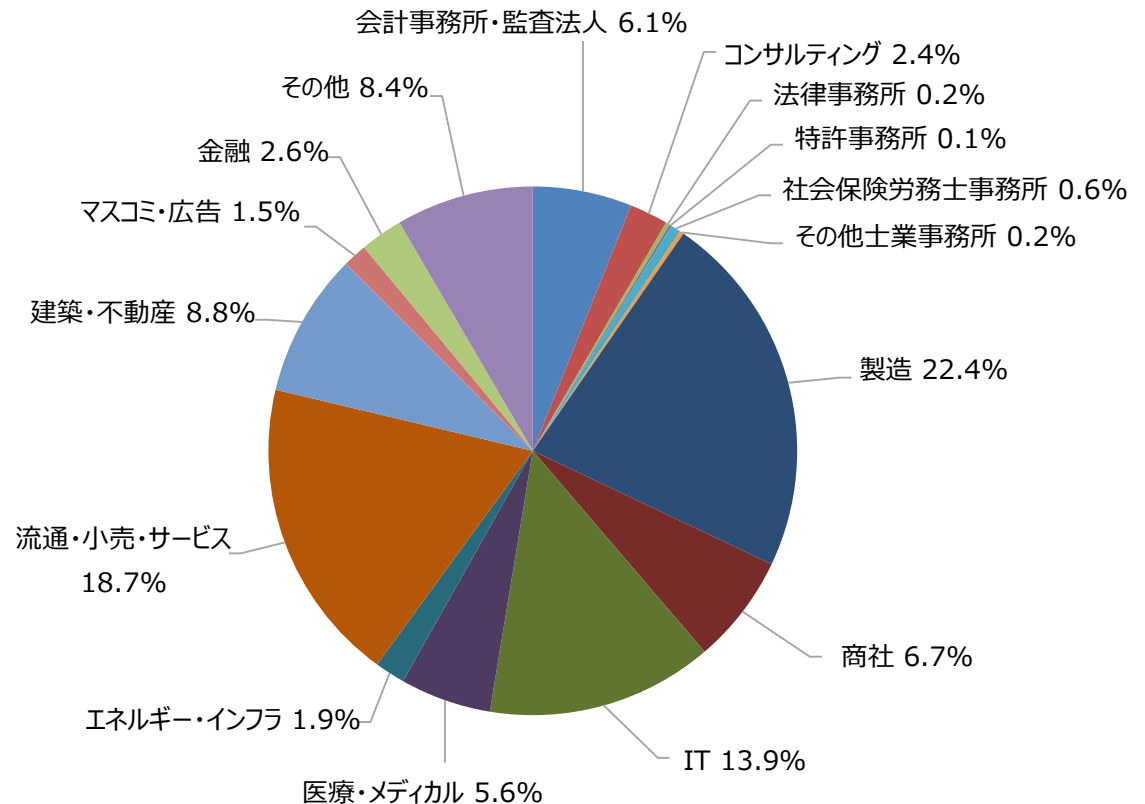
経理・財務部門 (2022.10.01 ~ 2022.12.31)

登録者詳細データ

業務内容別



現在の勤務先業種



人事・総務 部門 (2022.10.01 ~ 2022.12.31)

年代別動向

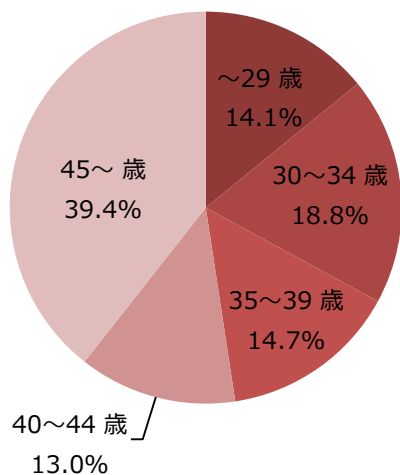
社労士合格発表あり。40代以上のミドル層が半数以上に

年代別の求職者分布について、45歳以上の流入が前回（2022年7～9月）より微増しており、40代以上のミドル層が52.4%と半数以上を占めた。一方で首都圏の平均年収については30代以上は前回（2022年7～9月）よりもダウン。これに対して東海・関西圏は40～44歳以外は10～50万円程度アップした。

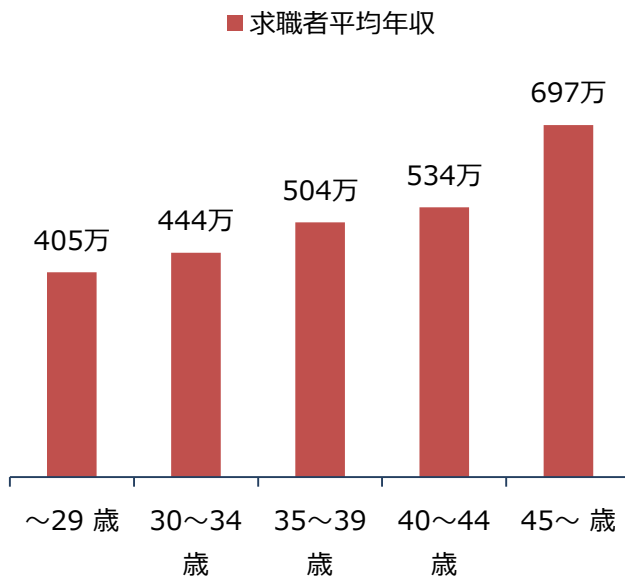
業務内容別では採用／教育・研修／制度・企画の業務経験者が小幅に増加。採用研修や労務等のオペレーション業務を入口に人事制度・企画に業務幅を広げたい求職者は多く、人事制度企画経験者は市場価値も高く評価されやすい。

季節トレンドとしては、10月に社会保険労務士試験の合格発表があった。資格取得を見越したキャリアチェンジ、キャリアアップを目指し相談にくる求職者も多かった。

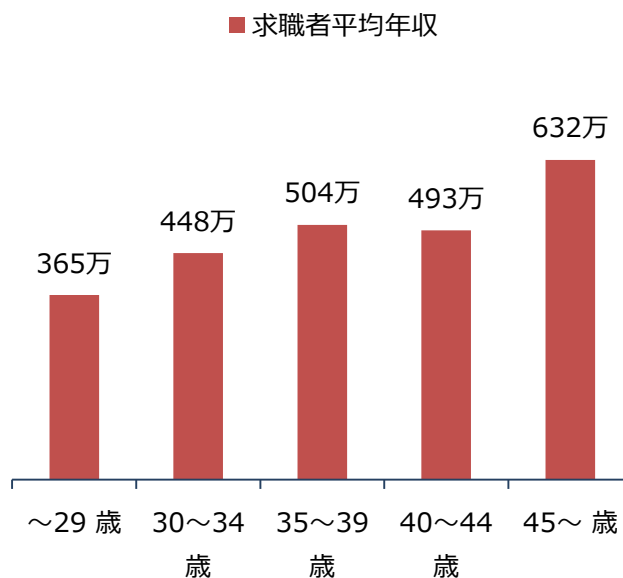
年代別 求職者分布



年代別 年収分布（首都圏）



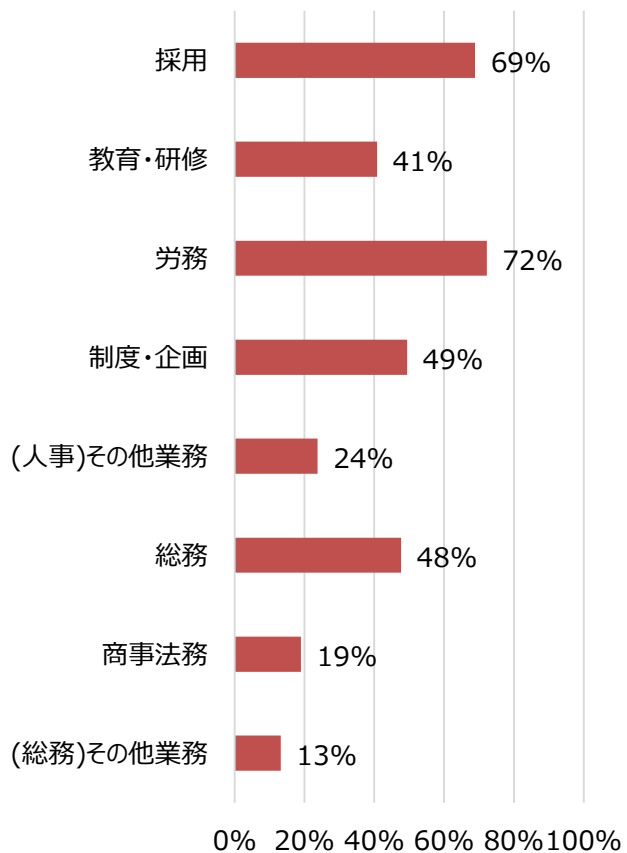
年代別 年収分布（東海・関西圏）



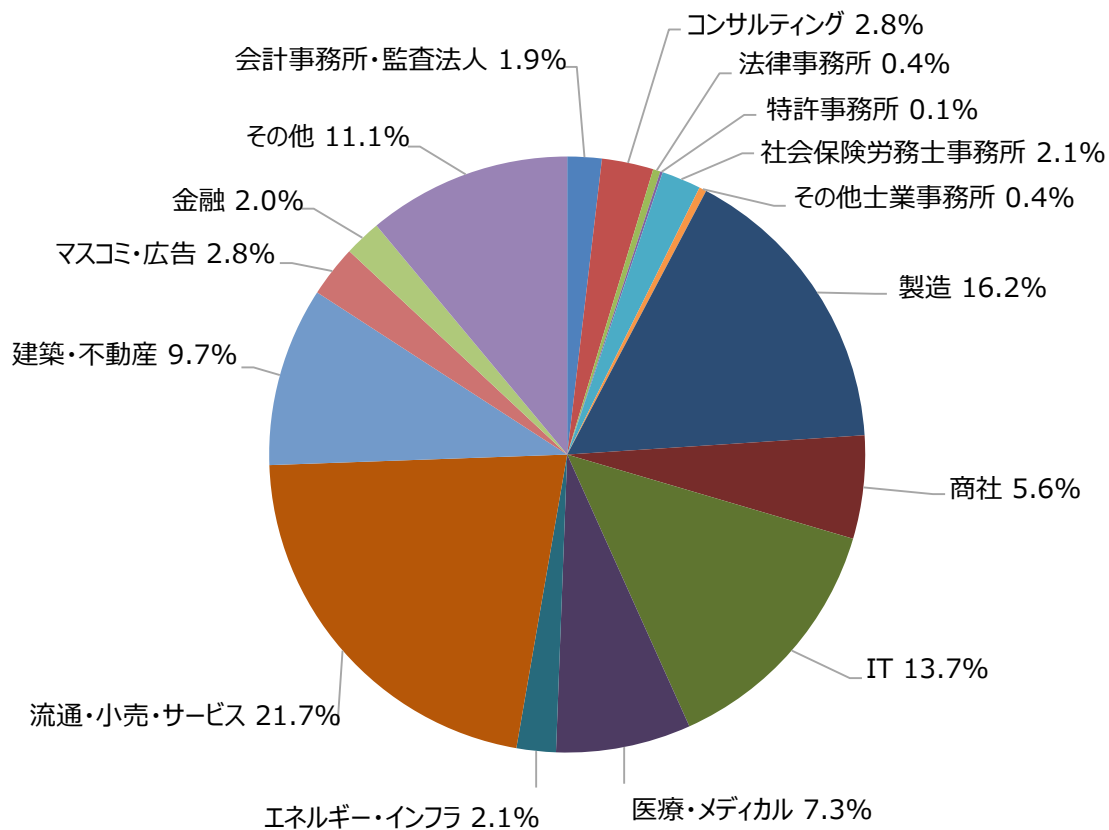
人事・総務 部門 (2022.10.01 ~ 2022.12.31)

登録者詳細データ

業務内容別



現在の勤務先業種



法務部門 (2022.10.01 ~ 2022.12.31)

年代別動向

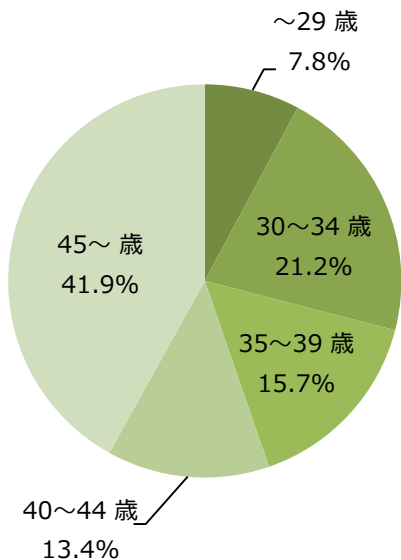
45歳以上の管理職～即戦力層の増加に伴い契約法務+α業務の経験者も増加へ

年代別の求職者分布は、前回（2022年7～9月）から20代が15.3%から7.8%へ減少し、45歳以上が29.6%から41.9%へ増加した。それに伴い経験業務内容も国際法務やM&A等の戦略法務経験者が増え、経験豊富な管理職～即戦力層の流入が増えたことがうかがえる。

季節トレンドとしては9月に司法試験論文式の結果発表があった。

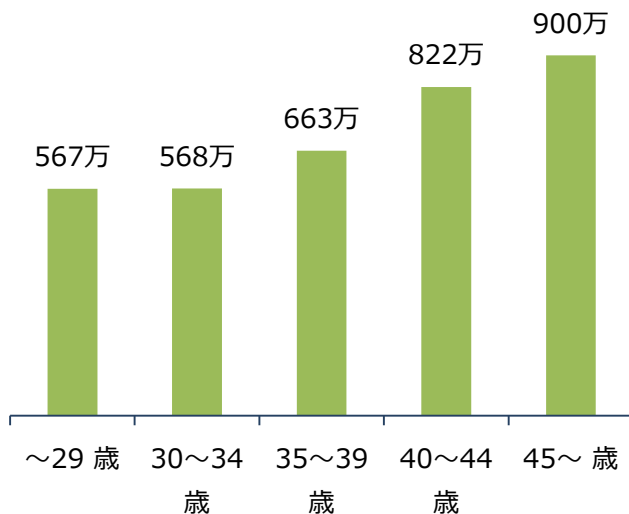
例年、秋は法科大学院修了の若手人材の流入が増加する季節だが、今年は減少傾向に。来年度の司法試験制度変更に合わせて、就業ではなく継続受験する法科大学院修了生も多く見られたことが要因の一つかと考えらえる。

年代別 求職者分布



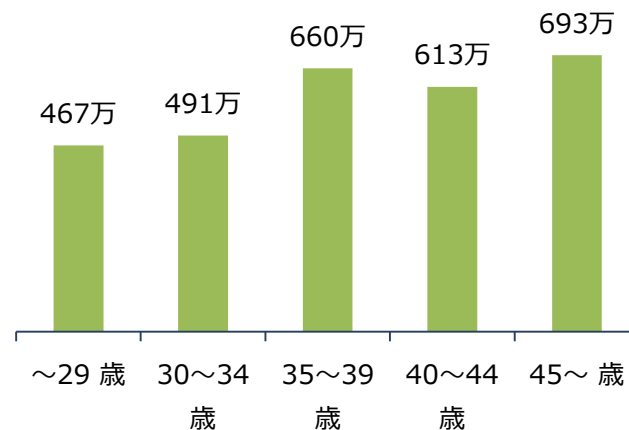
年代別 年収分布（首都圏）

■ 求職者平均年収



年代別 年収分布（東海・関西圏）

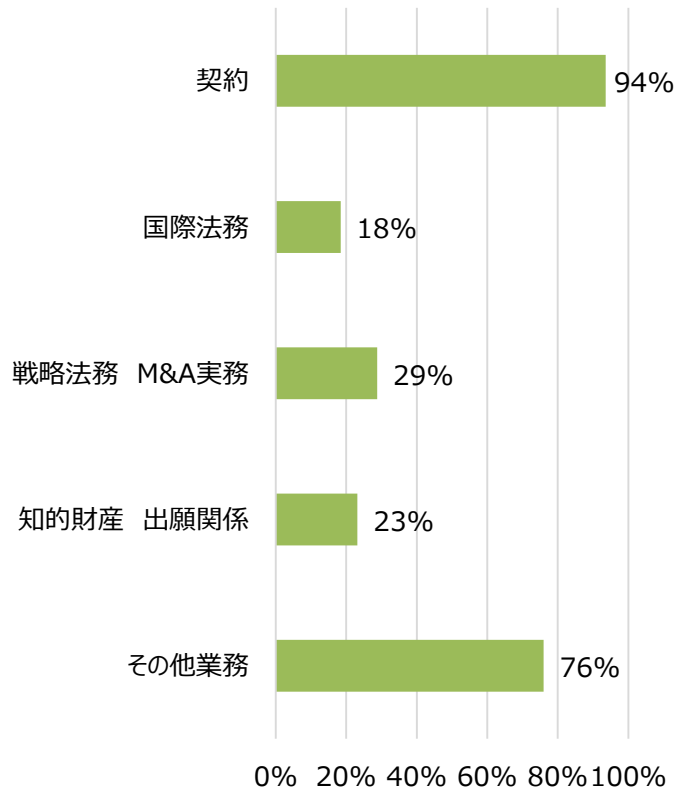
■ 求職者平均年収



法務部門 (2022.10.01 ~ 2022.12.31)

登録者詳細データ

業務内容別



現在の勤務先業種

